

人材育成や技術移転を通じて ベトナムでの産業用ロボット需要を開拓

「世界のものづくりに貢献する」を社是とする豊岡グループの一員で、FA(Factory Automation)・産業用ロボットメーカーである。主に自動車向け金属切削後のバリ取、金属加工の取出し、搬送用などの産業用ロボットシステムを開発・生産している。ODAを活用し、日越トレーニング・技術移転センターで高度技術者の育成や技術移転を行うことを通じて、ベトナムでの産業用ロボットの普及を目指している。

●所在地	愛知県岡崎市上青野町字中屋敷123番地
●電話／FAX	0564-43-5551／0564-57-6227
●URL	http://www.toyooka-eg.co.jp/index.html
●代表者	代表取締役 松井 俊介

●設立	1988年
●資本金	6,120万円
●従業員数	25人



ODAのスキームを活用してベトナム進出の橋頭保を構築

2007年からベトナムで自動化のニーズの調査を開始し、JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用し、ベトナム・サイゴンハイテクパーク内に設置された「日越トレーニング・技術移転センター（VJTC）」の設立・運営に関わっている。当センターに機材を導入。工場の自動化や産業用ロボットの活用など、高度な技術を持つ人材の育成や技術移転を通じて、ベトナムでの産業用ロボットの普及、ビジネス展開が期待される。



日越トレーニング・技術移転センター（VJTC）風景

地域連携による次世代のものづくりを支える技術開発

豊橋技術科学大学のベトナム人留学生を雇用するなど、豊橋技術科学大学と連携して現地ニーズに適したロボットシステム開発を行っている。同社が開発したロボット専用スピンドル（商品名）「あの手・この手・その手」は「愛知の地域資源」認定を受けている。また、「あの手・この手・その手」は岡崎商工会議所の「ものづくり大賞」で「特別賞」を受賞。「特別賞」受賞企業は同社が唯一である。



「あの手・この手・その手」

現地人材育成を通じた市場拡大の土台作り

愛知県内の工場で2005年からベトナム人技術者を継続的に採用し、ベトナム市場参入を2011年頃から検討。人件費の上昇に加え、ベトナムが目指す工業国化にはロボットが必要になると判断し、ロボット研修を通じてロボット需要の裾野を広げることと並行して、ロボットに理解がある日系工場にFAによる経営の効率化を提案。需要をより拡大するため、ベトナム国全体の製造業底上げを目指し「日越トレーニング・技術移転センター（VJTC）」の運営に取組んでいる。また教育訓練分野でSier協会、名古屋工業大学産学官金連携機構、及び周辺企業との協力・共同を強めている。



訓練現場